

第29回 源氏物語アカデミー プログラム

開催日	時 間	内 容	会 場
10/21 (金)	18:00 18:20	開 講 式	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	18:20 19:10	講 義「四方山史話 ― 鄙と受領」 同志社女子大学名誉教授 おぼる や 隴 谷 ひさし 壽 氏	
	19:20 20:50	講 義『源氏物語』に「鄙／都」が現れるとき 皇學館大学教授 なか がわ てる まさ 中 川 照 将 氏	
10/22 (土)	9:00 13:30	現地研修「与謝野晶子と越前」 村国山山麓「いただきの亭」→ 与謝野鉄幹・晶子歌碑 → 紫式部公園 → 帆山寺 → 料亭 うおとめ 解説 三木世嗣美 氏	越前市内
		昼 食	料亭 うおとめ
	14:00 15:30	講 演「紫式部と越の白山」 京都学園大学教授 やま もと じゅん こ 山 本 淳 子 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	15:45 17:15	講 演『源氏物語』から『更級日記』へ ― 宇治平等院への道 ― 流通経済大学教授 わ た りつ こ 和 田 律 子 氏	
	18:30 20:00	宴 席「紫きぶ御膳」	料亭 鎌仁別荘
10/23 (日)	9:00 10:30	講 義「源氏物語と催馬楽」 跡見学園女子大准教授 うえ た やす よ 植 田 恭 代 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	10:40 12:10	原文講読「鄙の別れ ― 『蓬生』巻 ―」 日本女子大学名誉教授 こ とう しょう こ 後 藤 祥 子 氏	
	12:10 12:25	閉講式・講評 監修者 隴 谷 ひさし 壽 氏	

※ プログラムの内容は変わることがあります。

◇参加費用 ●受講料／3,000円(各講義/講演/原文講読) ●現地研修／3,000円(バス・昼食)
●講義テキスト／2,000円 ●紫きふ御膳／6,000円
●22日講演(14:00～17:15)／市民公開講座

◇申込期限 **9月30日(金)** 期限厳守をお願いします。

〔お申込み・お問合せ〕 源氏物語アカデミー委員会

〒915-0832 越前市高瀬2丁目3-3 越前市文化センター内 TEL&FAX 0778-23-3374
Email: info@genji-ac.jp



紫式部公園

第29回 源氏物語アカデミー

監修 同志社女子大学名誉教授 龍谷 壽

テーマ 源氏物語と鄙ひな

渡辺玉花 源氏物語五十四帖 玉鬘

渡辺玉花 源氏物語五十四帖「玉鬘」

会 期：平成28年 **10月21日(金)～23日(日)**

会 場：ホテル クラウンヒルズ武生ほか
(旧 武生パレスホテル)

主 催：源氏物語アカデミー委員会 紫式部顕彰会
共 催：(公財)越前市文化振興・施設管理事業団
後 援：福井県 福井県教育委員会 越前市 越前市教育委員会
武生商工会議所 越前市観光協会 古典の日推進委員会

第29回 源氏物語アカデミー

テーマ 源氏物語と鄙^{ひな}

源氏物語アカデミーへの誘い

「源氏物語」と紫式部を様々な角度から探究する源氏物語アカデミー、今回のテーマは「源氏物語と鄙」。このテーマを中川照将先生、山本淳子先生、和田律子先生、植田恭代先生、そして常任講師陣の魅力あふれるお話で解き明かしていきます。二日目の現地研修は、昭和8年（1933）、「新新訳源氏物語」の筆をとっていた与謝野晶子が、鉄幹とともに北陸を旅し、歌を詠んだ村国山の竹内宇助氏の別荘や紫式部公園を訪ねます。さらにその夜の宴席は、式部に思いを馳せる「紫きぶ御膳」を市内料亭にてご用意いたしております。どうぞ錦秋の北陸路をゆっくりとお楽しみください。

講義 「四方山史話 ― 鄙と受領」

10/21(金) 18:20～19:10



髙谷 壽氏

同志社女子大学名誉教授 専攻 日本古代史、平安時代の政治・文化
（生）昭和14年 （学）同志社大学文学部文化史学科卒 （歴）財団法人平安博物館助教授を経て、同志社女子大学現代社会学部教授。著書に『源頼光』『清和源氏』『王朝と貴族』『藤原氏千年』『源氏物語の風景』『平安貴族と邸第』『藤原道長』など。紫式部顕彰会理事（京都）。第4回（平成3年）源氏物語アカデミーから講師として参加。第5回から監修者に就任。平成7年から源氏物語アカデミー委員会の要請により、国司下向再現実行委員会委員。紫式部千年祭（平成8年）でも監修委員に就任。平成17年度京都府文化功労賞受賞。

講義 『源氏物語』に「鄙／都」が現れるとき

10/21(金) 19:20～20:50



中川 照将氏

皇學館大学教授 専攻 国文学、平安朝文学
（生）昭和47年 （学）福井県立武生高等学校卒、福井大学教育学部卒、福井大学教育学研究科教科教育専攻修士課程修了、大阪大学文学研究科国文学専攻博士課程修了、博士（文学）
（歴）皇學館大学文学部講師を経て、同大学教授。
著書に『『源氏物語』という幻想』（勉誠出版）。
共編著に『テーマで読む源氏物語4』（勉誠出版）。

講演 「紫式部と越の白山」

10/22(土) 14:00～15:30



山本 淳子氏

京都学園大学人文学部教授 専攻 平安時代の文学と社会
（生）昭和35年 （学）京都大学文学部卒 京都大学大学院人間・環境学研究科修了 京都大学博士（人間・環境学）（歴）石川県立図書館・石川県立高校国語科教諭を経て、京都大学大学院人間・環境学研究科に入学、同修了。現在は京都学園大学人文学部教授。『源氏物語の時代――一条天皇と后たちのものがたり』（朝日新聞社）により、サントリー学芸賞（芸術・文学部門）受賞。著書は受賞作の他、研究書『紫式部集論』（和泉書院）、『誰も教えてくれなかった『源氏物語』本当の面白さ』（林真理子氏と共著 小学館）、『私が源氏物語を書いたわけ 紫式部ひとり語り』（角川学芸出版）など多数。

講演 「『源氏物語』から『更級日記』へ ― 宇治平等院への道 ―

10/22(土) 15:45～17:15



和田 律子氏

流通経済大学教授 専攻 国文学、平安時代の文学 （生）昭和24年
（学）立教大学文学部日本文学科卒、立教大学大学院文学研究科日本文学専修博士後期課程退学、博士（立教大学、文学）
（歴）立教大学、聖学院大学等非常勤講師、流通経済大学助教授を経て、現職。
著書に『藤原頼通の文化世界と更級日記』（新典社・第二次第四回〈通算十六回〉関根慶子賞受賞）、共編著に『更級日記の新研究』（新典社）、「平安後期 頼通文化世界を考える」（武蔵野書院）など。

講義 「源氏物語と催馬楽」

10/23(日) 9:00～10:30



植田 恭代氏

跡見学園女子大学准教授 専攻 国文学、平安時代の文学 （生）昭和33年 （学）跡見学園女子大学文学部卒、日本女子大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程単位取得満期退学 博士（文学 日本女子大学）（歴）日本女子大学助手 跡見学園女子大学兼任講師 共立女子短期大学嘱託准教授。
著書に『源氏物語の宮廷文化』（笠間書院 第二次第五回関根賞）、『紫式部』（笠間書院）、編著に『日本文学研究論文集成 源氏物語2』（若草書房）、共編著に『源氏物語事典』（大和書房）

原文講読 「鄙の別れ ―『蓬生』巻―」

10/23(日) 10:40～12:10



後藤 祥子氏

日本女子大学名誉教授 専攻 国文学、平安時代の和歌と物語
（生）昭和13年 （学）日本女子大学文学部国文学科卒、東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専攻修士課程修了 （歴）日本女子大学文学部教授を経て日本女子大学学長。著書に『源氏物語の史的空間』『平安私家集』『狭衣物語1・2』、『はじめて学ぶ日本女性文学史』編著書に『源氏物語講座』『和歌文学論集』など。第4回（平成3年）源氏物語アカデミーから講師として参加。平成7年から源氏物語アカデミー委員会の要請により、国司下向再現実行委員会委員。紫式部千年祭では監修委員会委員に就任。源氏物語アカデミー常任講師

現地研修 10/22(土) 9:00～13:30

「与謝野晶子と越前」 村国山麓「いただきの亭」→ 与謝野鉄幹・晶子歌碑 → 紫式部公園 → 帆山寺 → 料亭 うおとめ



いただきの亭（元 竹内氏別荘）

与謝野晶子は、昭和3年7月に刊行した感想集『光る雲』の中で、「紫式部は私の十一、二歳の時からの恩師である。私は二十歳までの間に『源氏物語』を幾度通読したか知れぬ。全くの独学であったから、私は中に人を介せず紫式部と唯二人相対して、この女流文豪の口づから『源氏物語』を授かった気がしている」と、書いています。

晶子は二度目の源氏物語現代語訳執筆中の昭和8年11月に、鉄幹とともに、紫式部ゆかりの越前を訪ねています。二人を、自分の別荘に宿泊させ、御馳走し、案内したのは、越前出身で、当時は東京麻布で政財界人、文人墨客の出入りする料亭を営んでいた料理人、竹内宇助でした。鉄幹、晶子が泊まった別荘がまだ当時のままに残っていますので、そこで二人が詠んだ歌を鑑賞しながら、当時のことに思いを馳せたいと思います。



与謝野鉄幹歌碑



与謝野晶子歌碑



観音山 帆山寺

昼食会場の料亭 うおとめでは、与謝野鉄幹・晶子の真筆を紹介します。

帆山寺内の長屋店あけて
物あきなへり銀杏ちるもと
日野川の観音谷の秋に咲く
山ざくらこそあはれなりけれ
船にゐて霧の中行くこちする
越の帆山のいただきの亭

晶子 晶子 晶子